

# 「きれいに咲いてますね！」 その一言が励みになります



羽山光枝 代表

北三原地区に入り川沿いを進むと、下旬から中区にかけて、道路脇にタ  
イヤを利用したプランターが並んでいるのに気づきます。これは、「北三原  
植栽ボランティア」というボランティアサークルが管理しているものです。  
このプランターには、今じオラの花が盛りで、ハンドルを握りながら思わ  
ず鼻歌でも口ずさみたくなるほどです。

北三原植栽ボランティアサークルが管理するのは、前記プラン  
ターの他、羽山ファームの前の花壇、小川ゲートボール場入り口の  
花壇などです。

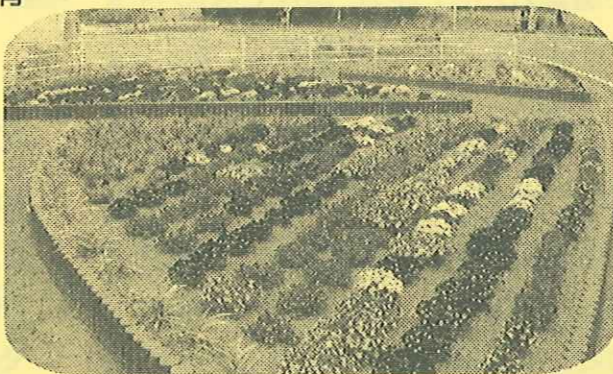
北三原植栽ボランティアの活動内容やメンバーについて、代表  
の羽山光枝さんにインタビューをしました。

まず、この活動を始めることになったきっかけを聞いてみました。  
この活動は初め、黒岩老人会が行っていたそうです。しかし、老人

会のメンバーの高齢化が進み、仕事の負担  
が大きくなつたため、その継続を依頼され  
たのが、始まりのことでした。それが、平  
成18年。今年で5年目になるそうです。

現在のメンバーは、23名。黒岩老人会の有  
志や北三原小域ボランティア、羽山さんの同級生  
と、種々雑々です。

地域がら農家のご婦人方が多いため、機械を使  
うのも草取りもお手の物。多くのプランターや花  
壇の植え替えも、それぞれ2日程度でこなしてい  
ることです。また、草取りは年3回程度行い、



それぞれ自分の近くのプランターや花壇を受け持っているそうです。  
苗を購入する資金は、市からの助成金や北三原小域ボランティアから  
の補助を充てているそうですが、地域の方々からの支援もあること  
です。羽山ファームから苗を購入する際には割引が、また、近くで育苗を  
している白川さんや松田の鈴木さんからも、ストツツや

葉ボタンの苗などを頂いているそうです。  
こうして、多くの方々に支えられながら、植栽活動は続け  
ています。活動して嬉しいことは、やはり植栽を目にし  
た方や通りがかりの方に、「大変ですね」「きれいに咲い  
てますね」「こを通ると和みますね」、などの声  
をかけて頂くことです。

お互いの活動を認め合うこと、努力に対し声  
をかけたこととは、地域の中の一つなかりを強く  
していることになると考えます。また羽山さん  
は、笑いながらこう言いました。「地域の先輩に  
声をかけられたら、断れませんが」

こうして多少きつうくつにも感じられる  
関係は、田舎特有のものかも知れませんが、無  
くしてはならない、昔から培われてきた日本の  
地域社会の良さだと考えます。

震災地の人々に対して、諸外国から寄せら  
れる「避難所における譲り合いの心」困難に  
耐え続ける力」などへの賞賛も、同じ日本の地域社会で培  
われたものです。

こうした地域ボランティ  
ア等の関わりを通して、日  
本人の良さが脈々と  
引き継がれていきます。



発行者 南房総市・和地域づくり協議会「WAO!」  
連絡先 南房総市役所和支所内 地域づくり支援員  
電話 支援員 0470-47-5955  
支所 0470-47-3111  
E-mail qq4u9y89n@royal.ocn.ne.jp

## 「食の都庄内」の食育学習会を開催

3月22日(火)、「WAO!」にぎわい部会が「食による地域づく  
り」をテーマとした学習会を開催しました。講師は、「食の都庄内  
親善大使」奥田政行シエフです。学習会の内容は、講義と和田周辺の食材を  
アレンジした「塩が仲人の簡単イタリアン」の実践というものです。

しかし、東日本大震災が起つてわずか10日あまり後のこと、  
被災地の惨状が次々報じられる中、講師が鶴岡市在住という  
こともあり、学習会の実施には相当の決断を要しました。  
そこでまず、講師に可能かどうか問いあわせました。その  
「是非やってみよう」との返事。また「こんな時だからこそ、  
元気になる活動は必要」との会員からの意見もあり、実  
施が決定されました。

ちなみに、奥田シエフは来町の前日まで岩手で炊き出  
しをしていたとのこと。また二・三週間後には、東北の地  
からも経済が回る大切さのメッセージ発信もありました。



あつという間にテーブルに並べられました。

参加した会員からは、

- \* 奥田さんを困らせようと、難しい食材を多く揃えたが、  
ちっとも組み合わせに困っていなかった。ちよつと悔しい。
- \* 奥田さんの持ってきた塩は、甘かった。塩にも色々な味  
があるが、使いこなすのは難しい。勉強が必要だ。
- \* 奥田さんの料理は、ソースやハーブを効かせたコテコテ  
の洋風の物ではないので、「にぎわい施設のレストランの  
和風の味に生かせないかな」と思った。

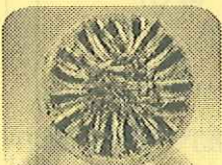
- \* 生でカじることは自分はまだあまりやらないが、あの後、生の味  
を感じようと意識的にやってみている。大変刺激を受けた。
- \* 自分達は、「ノビルは茹でてはいけない」とか「ツマナは  
生では食べない」とかの固定観念があるが、奥田さんに  
はないのだから。ツマナをスパゲティと一緒に茹でたり  
生のままで混ぜたりするなどまず考えられない。そ  
ういう発想が大切だ。

- \* 時間差で来る味とい  
うのを、あの時痛感した。普  
通、私たちが調理する時、舌  
の一点で感じる味しか意識しない  
が、初め舌先で感じる味、次に舌の左  
右で感じる味、終わりに舌の奥で感じる味など  
を味わっていくうちに、それが鼻に香りとして残  
っていく。そんなところも計算していると思った。

さて、奥田さんにとつて魅  
力的な素材だったのは、ハマ  
ダイコンだったようです。そ  
の証拠に、お土産として大事  
そうに持って帰りました。



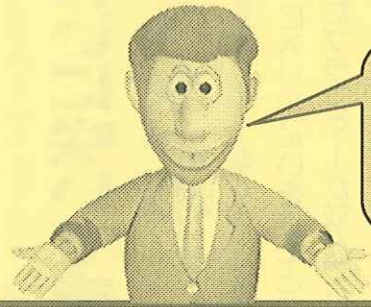
まず講義から。奥田さんの、食材  
にだけではなく、生物や環境に対する  
造詣の深さにビックリするところばかり。  
黒潮・親潮の成り立ちや、そこに生息する魚種や  
特徴。それらを分析したり、関連づけて話される内  
容は、みな目からうろたの連続でした。  
次に行われた、和田周辺の食材を  
使った「塩が仲人の簡単イタリアン」  
づくりも、集まった食材を次から次へ  
と組み合わせ、「こんな味が生まれる  
のか」といっような作品の数々が、



さて、奥田さんにとつて魅  
力的な素材だったのは、ハマ  
ダイコンだったようです。そ  
の証拠に、お土産として大事  
そうに持って帰りました。



# 4月25日(月)に23年度定期(NPO法人設立に向けた)総会を開催!



これは、総会で提案されるNPO法人設立の趣旨をまとめたものです。

NPO法人 和田地域づくり協議会「WAO!」は、次のような会員の参加を歓迎します。

会費・入会金は当面ありません

次のような活動が考えられています

## このような思いから、NPO法人を設立します!

私達が活動の拠点としている和田地域は、平成18年3月に7つの町村が合併し、南房総市となりました。

和田地域は、南房総市の東端に位置し、南房総市役所本庁舎のある南房総市富浦地域から最も遠い地域のひとつです。

また合併時には、支所に26名の職員がいましたが、現在では10名を切るまでに減り、住民に不安感やさびれ感がただよい始めています。

こうした中南房総市では、市民と行政が、お互いに共通する目的の実現や地域課題解決のために、各々の特性を生かし、連携・協力していく「協働」のまちづくりが進められています。

そのような状況の中で「和田地域の課題や良さを住民自らが発見し、課題を解決したり、良さを伸ばしていくために、地域内の各種団体と連携し、できるところからまちづくりの活動を始めていこう」と、昨年4月22日に「任意団体 和田地域づくり協議会「WAO!」」を設立しました。

そして、活動の目標を「わいわいと 温かみのある おらが町」づくりとし、自分達のできる範囲で地域の安心・安全に関する事業、生きがい創出・にぎわい創出のための公益活動を行ってきました。

今後、ひとりでも多くの地域の皆さんに様々な立場で活動に参加していただくための仕組みやしがけを考え、また現在、整備が進められている和田地域拠点施設を有効に活用し、地域の皆さんが「和田地域に住んでいて良かった」「地域に活気がある」と思えるように、法人の目的に掲げた「わいわいと 温かみのある おらが町」づくりを進めていきたいと考えます。

このようなまちづくりを進めるにあたり、公益活動の充実に加え、将来はまちづくりに関する事業の受託、さらにはコミュニティビジネス等の活動も視野に入れ、地域活動の中核を担う自立した組織づくりを目指していきたいと考えます。

\* 法人の目的及び内容を十分に理解

して下さる方

\* 法人の活動を特定の政治や宗教に利用しない方

\* 暴力団員またはその関係者でない方

現在の会員数は六四名です

## NPO法人 和田地域づくり協議会「WAO!」のプロフィール

設立当初の役員です

- |     |       |           |  |
|-----|-------|-----------|--|
| 会長  | 佐藤 良二 |           |  |
| 副会長 | 藤原 秋治 | 信川 文紀     |  |
| 会計  | 長島 富郎 | (前記4名も理事) |  |
| 理事  | 石井 英毅 | 藤原八千代     |  |
|     | 内田 守  | 川名 正敏     |  |
|     | 北見 和美 | 黒川 操      |  |
|     | 高橋 一男 | 辻 貞夫      |  |
|     | 鳥海 達男 | 長谷川 勲     |  |
|     | 羽山 和夫 | 羽山 光枝     |  |
| 監事  | 安田 寛  | 庄司 美佳     |  |

	事業内容	具体的な内容
安心・安全部会	※「手を取り合い 誰もひとりぼっちにしない町」づくりに係る安心安全な地域づくりのための事業	1. 子供のための安心・安全マップを作成する * 町内2小学校区の通学路やその周辺が対象。 * 子供たちやPTA、先生方と共に通学路周辺を歩き調査 * 結果を大きな地図に落とし込み、発表を通して学校内や地域に発信 2. 地震と津波に関する研修会を開催し、地域の防災意識を育てる。 * 起震車体験や専門家による講演 等で 3. 高齢者の生活の様子を調べたりして、支援の在り方を探る。 * 独居高齢者の安否確認の仕組みづくりや実効的な交通安全教室開催等の研究を通して
生きがい部会	※「学び合い 活動し合える ぬくもりの町」づくりに係る生きがい創出のための各種講座の開催等に関する事業	1. 寺子屋講座を開催する。 * 地域の人達が楽しめる内容のものを組み込んで(グラントゴルフ大会、歩け歩け大会 等も) 2. 和田地区文化祭への協力や支援を行う。 * 平成22年度の連携を更に深める方向で 3. 和田地区で行われるボランティア活動や市民活動と連携したり、支援したりする。 4. 和田地区の地域づくり活動を調査したり、地域にそれを発信したりする。
にぎわい部会	※お年寄りから子供までが集い ともに生きる町」づくりに係るにぎわい創出のための事業	1. 地域素材を生かした料理の開発研究をする。 * レストランメニュー、テイクアウト商品 等 2. 地域の魅力を発信するために、地域交流に関する調査や研究などを行う。 * 友好市町、市内団体間交流 3. にぎわいを高めるために、道の駅や直売場の管理や運営に関する調査や研修を行う。 * 視察研修や講演 等

※「WAO!」全体の取り組みとして  
 \* ビーチクリーン活動を進める。  
 \* 海岸環境の保全や観光資源としてのサーフィンを考え、より良い関わり方を研究する。(サーフィン・プロジェクトが活動推進の中核となつて行う)